

ホームページ公開

平成24年10月31日 教育委員会定例会 会議録

1 開催日時及び場所

・平成24年10月31日（水） 午後2時05分 ～ 午後3時05分

（報告事項・意見交換 午後3時05分 ～ 午後3時35分）

・岐阜県図書館 特別会議室

2 出席者

委員

事務局職員

委員長 土屋 嶮

教育次長 丹羽 章

委員 野原 正美

教育次長 宇野 秀宣

委員 月村 時子

義務教育総括監 加藤 壽志

委員 稲本 正

総合教育センター長兼教育研修課長 南谷 清司

教育長 松川 禮子

教育総務課長 桐山 敏通

（森口祐子委員は欠席）

教育総務課教育主管 高橋 博美

教育財務課長 山本 紳一

教職員課長 高橋 利行

教職員課教育主管 水川 和彦

学校支援課長 柿澤 雄二

特別支援教育課長 安田 和夫

社会教育文化課長 浜崎 浩之

スポーツ健康課教育主管 川治 秀輝

3 議事日程等

報第1号及び報第2号について非公開とすることを決定。

4 会議録

平成24年9月10日開催の教育委員会会議録を承認。

5 審議の概要

別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容 () 書きは事務局発言
報第1号 職員の懲戒処分について（非公開案件）	
職員（1名）の懲戒処分について専決処分を行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
報第2号 市町村立学校管理職等の人事異動について（非公開案件）	
市町村立学校管理職等の人事異動（3名）について専決処分を行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
議第1号 平成25年度公立高等学校の入学定員について	
教育総務課長	<p>平成25年度の公立高等学校の入学定員について、お諮りする。高等学校の入学定員は、岐阜県立高等学校管理規則に基づき、教育委員会が定めることとなっている。</p> <p>平成25年3月に県内の中学校を卒業する予定の生徒数は、20,556人であり、今年3月の卒業生数と比べて、440人減少することとなる。</p> <p>県としては、高校への進学を希望する生徒に対し、学びの機会を保障できる入学定員を設定することを基本的な考え方としており、その年々の中学卒業予定者にとって、卒業予定者の増減で条件が異なることがないよう、入学定員を設定しており、平成25年度の入学定員についても、卒業生数の440人の減少を踏まえて設定している。</p> <p>まず、全日制課程の定員については、県立高校の定員を14,520人とし、市立高校の定員480人と合わせて合計15,000人とし、公立高等学校全体として昨年より320人の定員減とした。定時制課程及び通信制課程の定員については、平成24年度と同じである。</p> <p>全日制課程の320人の定員減のため、6つの学区ごとに卒業予定者数等を勘案して定員配分を検討し、岐阜学区80人減、西濃学区変更なし、美濃学区40人減、可茂学区80人減、東濃学区120人減、飛騨学区変更なしとした。</p> <p>次に各学区の中で、学校及び学科ごとの定員について、個々の市町村における生徒の増減及び高校ごとの入学実績などを総合的に勘案して割り振りを行った。岐阜学区において、本巣松陽高校普通科及び岐阜総合学園総合学科を各1学級減、美濃学区において武義高校普通科1学級減、3月の定例教育委員会で決定された関有知高校理数科の来春の募集停止の代わりに同校の普通科で1学級増、可茂学区では、加茂高校普通科、可児高校普通科を各1学級減とする。西濃及び飛騨学区では変更しない。</p> <p>定時制課程及び通信制課程については、学校ごとの定員についても変更しない。</p> <p>なお、全日制の普通科等には、学区制の対象となるものと、単位制普通科や、各務原高校理数科や英語科など、県内どの学区に居住していても受験が可能な学科があり、資料に記号で示してある。</p> <p>市立高校の定員については、各市とも、定員の今年度との変更はないとの報告を受けている。</p>

ホームページ公開

稲本委員	中学校卒業生数が440人減少したことに対して、入学定員が320人の減ということは、高校へ入る確率が高くなるということか。
教育総務課長	年によって、公立高校の入学倍率が異ならないように配慮している。 中学校卒業生の減少数に対して、そのまま高校への入学者数が減るのではなく、高校への進学の有無及びどの学校へ進学するか、例えば私学へ進むかどうかなどがある。これらについて過去の経験値なども勘案した割合で定員の増減を決めている。
野原委員	例年、私立学校関係を含む教育関係者の協議会があると承知しているが、私立高校の増減はどうなっているのか。
教育総務課長	私立高校の入学定員は別途決定されるが、概ね80人程度は減ると承知している。
委員長	土岐商業高校と中津商業高校については、ビジネス情報学科に各80名の定員であったところを、各40名の定員減としているが、ビジネス学科の定員についてはそのままとするのか。
教育総務課教育主管	土岐商業高校と中津商業高校については、それぞれビジネス学科の定員はそのままとし、ビジネス情報学科の定員を40名ずつ減らしている。ここ何年来かの受験実績、入学実績や進路希望等を勘案してのことである。
委員長	社会的な要請から、東濃学区では、ビジネス情報学科の定員を減らすということか。
教育総務課教育主管	東濃学区においては、もともと情報分野の定員の比率が他学区と比べて高くなっていたこともある。今回の定員減によっても、情報分野の比率は他学区と同程度である。
丹羽教育次長	当該学区の情報関連分野は、近年中学生の受験志望者が減少傾向にあり、受験生のニーズに応じた定員としている。
月村委員	普通科では、ほとんどが学区制の対象となっているが、対象となっていない高校もいくつかある。どういう基準で学区制とするのか。
教育総務課教育主管	普通科では、ほとんどが学区制の対象となっているが、例えば、各務原西高校は単位制を用いた普通科であり、設置校が少ないことから、以前から全県から出願できる形としている。
委員長	議第1号につき、挙手により採決する。
委員長	全員賛成により可決する。
○ 閉会	
委員長	午後3時05分、閉会を宣言する。
○ 事務局報告	

ホームページ公開

- (1) 平成24年度第4回岐阜県議会定例会における審議結果について
- (2) 平成24年度第4回岐阜県議会教育警察委員会の概要について
- (3) 平成25年度使用教科用図書採択結果について
- (4) 本県における新たな重要伝統的建造物群保存地区の選定について
- (5) 第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」及び第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」の開催結果について
- (6) 平成24年度教育委員行事予定について
- (7) 企画展等の開催について